

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Naohito Ide, Ayaka Mochizuki, Yoshiyuki Kagawa, and Masaharu Ito, A case of complete atrioventricular block with extremely high blood concentration of azelnidipine. J Pharm Health Care Sci, 7 (2021) doi: 10.1186/s40780-021-00230-x.
- 2) 山本麻里子、井出直仁、松島暁、三上智、伊藤政治. 薬剤師の薬学的介入により発見されたアマンタジン中毒の高齢者の2症例. 日本病院薬剤師会雑誌 56(4) 409-413 (2020)
- 3) Naohito Ide, Seitaro Sato, and Kazuyo Sawaguchi. Risk of Acute Kidney Injury in Patients Treated with Vancomycin and Piperacillin/Tazobactam Compared to Vancomycin and Meropenem or Doripenem: A Retrospective Cohort Study. YAKUGAKU ZASSHI 139(12) 1609-1614 (2019) doi: 10.1248/yakushi.19-00137.
- 4) 山本麻里子、井出直仁、北島信三、大林正和、浅田馨、松島暁、伊藤政治. エンパグリフロジン服用中の低糖質食摂取により血糖正常性ケトアシドーシスを生じた1例. YAKUGAKU ZASSHI 139(11) 1479-1483 (2019) doi: 10.1248/yakushi.19-00120.
- 5) 井出直仁、澤口和代. 薬剤師の薬学的介入で発見されたスルファメトキサゾール・トリメトプリムの内服後に生じたアマンタジン中毒の1例. 日本病院薬剤師会雑誌 54(7) 847-850 (2018)

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 井出直仁、望月彩加、伊藤政治、薬学的介入によって永久ペースメーカー植込みが回避されたアゼルニジピンによる完全房室ブロックの症例、第30回日本医療薬学会年会、web (2020)
- 2) 山本麻里子、井出直仁、北島信三、千葉修平、大林正和、浅田馨、松島暁、伊藤政治、敗血症性ショック患者における Augmented Renal Clearance の発現率調査と発現予測因子の検討（続報）、第47回日本集中治療医学会学術集会、名古屋市 (2020)
- 3) 山本麻里子、井出直仁、松島暁、三上智、伊藤政治、薬剤師の薬学的介入により発見されたアマンタジン中毒の一例、第29回日本医療薬学会年会、福岡市 (2019)
- 4) 長江優吾、石井康子、飯塚美帆、江川仁美、加藤純、北島信三、酒井直樹、竹原誠也、市橋鋭一、井出直仁、池谷延房、中島重紀、澤口和代、伊藤政治、賀川義之、バルプロ酸の体内動態に及ぼす個体間差要因に関する研究、日本薬学会第139年会、千葉市 (2019)
- 5) 山本麻里子、井出直仁、北島信三、松島暁、伊藤政治、敗血症性ショック患者における Augmented Renal Clearance の発症頻度と予測因子の検討、第46回日本集中治療学会学術集会、京都市 (2019)
- 6) 井出直仁、佐藤誠太郎、澤口和代、伊藤政治、バンコマイシン注とタゾバクタム/ピペラシリン注併用中に急性腎障害を生じた2症例、第12回日本腎臓病薬物療法学会学術集会、浜松市 (2018)

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2. その他特筆すべき教育業績